

日臨内ジェネリック医薬品実態調査

【設問票】

設問1

ジェネリック医薬品の価格について選択してください

A 高価すぎる B 適正である C 安価に感じる D 何とも言えない

設問2

ジェネリック医薬品価格決定ルールについて選択してください

A 根拠があるわけでもなく不信 B ほぼ適正と感じる C わからない

設問3

医療費抑制をプラス、医療の質低下をマイナスとして、ジェネリック医薬品の総合的評価はどのように判断されますか

A プラスと思う B 均衡している C マイナスと思う D 何とも言えない

設問4

院外処方と調剤薬局について選択してください

1 処方について

- ① 院内処方のみ、院外処方ほしない ② すべて院外処方である
③ 主に院内処方たまに院外処方する ④ 院内処方より院外処方が多い

2 調剤薬局について

- ① 門前薬局 ② 調剤薬局を指定 ③ 患者に任せている ④ その他

3 処方箋について

- ① 一般名処方を行わない ② 一部一般名処方 ③ すべて一般名処方

4 変更不可サインについて

- ① すべてにサインを行う ② 一部にサインを行う ③ 不可サインはつけない

設問5

調剤薬局との連携について選択してください

1 患者が手にする医薬品について

- ① 調剤薬局とのコミュニケーションが円滑に進められており、患者が実際に手にする薬剤は把握できている
② 一般名に対して調剤をあらかじめ決められているので把握できている
③ 時に情報もたらされ、把握できることもある
④ 一般名処方では、具体的調剤名などは伝えられず把握できない

2 疑義や変更、残薬等について意見交換が円滑に行われていますか

- ① 十分できている ② 十分とはいえない ③ 不十分 ④ 全くできていない

3 副作用や薬物有害事象発現が即座に把握できる体制を構築していますか

- ① はい ② いいえ

4 定期薬であっても調剤薬局の都合で患者の手にする薬剤が時に異なる場合があることについて

- ① 許容している ② 許容できない ③ 経験がない

設問6

最近、医療保険で導入が取りざたされているフォーミュラリーとは、疾患治療薬の種類ごとに薬剤を指定したリストを作成することで、ジェネリック医薬品が優先されます。患者に対する最も有効で経済的な医薬品の使用方針であると説明され、例えば脂質異常症に対して第一選択薬は、スタチンではアトルバスタチン錠(後発品)とピタバスタチン錠(後発品)と定められることとなります。

1 フォーミュラリーについて

- ① 内容を理解している ② 名称は知っている程度 ③ 知らない

2 フォーミュラリーの導入について

- ① 賛成 ② 反対 ③ どちらともいえない

設問7

リフィル処方とは、患者が医師の再診を受けることなく、処方箋1枚で繰り返し調剤薬局から薬を受け取ることができます。多くの場合、病状が安定した患者において医師が期限を決めて処方箋を書き、その期限内であれば薬剤師のモニタリングにもとづき、その都度繰り返し調剤が行われます。

3 リフィル処方について

- ① 内容を理解している ② 名称は知っている程度 ③ 知らない

4 リフィル処方の導入について

- ① 賛成 ② 反対 ③ どちらともいえない

設問8

ジェネリック医薬品について不安、不信や改善を要望する項目を選択(複数可)

- ①品質 ②効果 ③安全性 ④情報・調査 ⑤供給・価格
 ⑥副作用 ⑦オーソライズドジェネリック(AG)への期待
 ⑧施策 ⑨患者反応 ⑩その他

設問9

医療費削減という見地から、ジェネリック医薬品の普及・拡大施策の延長にフォーミュラーでは薬剤選択の制限、リフィル処方では受診抑制など医療・診療行為の本質にまで迫ろうとしています。どのように対処していくべきか、ご意見を記載してください。

(.....回答票にご記載ください.....)

設問10

ジェネリック薬剤名(血圧・循環器用薬)をリストアップし、臨床評価を付けてください。

- ① 現在使用しているあるいは以前に使用したことがある血圧・循環器用薬
 (ジェネリック医薬品)をすべてリストアップしてください

- ② リストアップした薬剤について評価(A, B, C:理由)してください

評価: A. 支障なく継続使用中 B. 不満足だが継続使用中 C. 使用中止*

* C. 中止理由: 1 無効 2 副作用・有害事象出現 3 品質粗雑 4 その他

☆記載例

No	医薬品名	評価	No	医薬品名	評価
1	ロサルタンカリウム錠50mg「DK」	A B C (2)	16	カロベジロール錠20mg「トーア」	(A) B C - ()

設問11

以下のような不具合を経験したジェネリック医薬品について、薬剤名・臨床所見・対応・転帰(対応後)を報告してください。

- ア 先発品からジェネリック医薬品への変更に伴い、品質や薬効に差違があった
 イ 第一選択あるいは併用・追加薬として投与したが、期待する効果が得られなかった
 ウ 副作用・薬物有害事象が出現した、あるいは強い違和感があった

〈記載要領〉

- 種別 : 不具合該当記号 ア イ ウ を選択
 薬剤名 : 一般名 剤型 容量 メーカー名 の順で記載
 アの場合は先発品名を記載すること
 症状・所見 : A. 効果減弱 B. 効果増強 C. 副作用出現 D. その他
 対応 : a. 後発品中止・先発品に戻す b. 後発品中止・別薬に変更
 c. 後発品継続・別薬追加 d. 不明 より選択
 転帰(対応後) : 1. 改善 2. 不変 3. 増悪 4. 中断 5. 不明 より選択

☆記載例

種別	ジェネリック医薬品名・先発品名	症状	対応	転帰	コメント
イ	カンデサルタン錠12mg「あすか」	A	a	1	降圧効果持続時間が短い

※ 回答票は趣旨説明の裏ページにあります。
 日臨内事務局までFAXにて回答票をご送信ください。